

議会だより



～クラスマッチ～

熱中症が心配される暑さの中、誰一人倒れることもなく、熱戦を繰り広げた。

金山校の日常 No.2 「新庄南高等学校金山校」

燃えるような「猛暑の夏」から、3年生は勝負の「進路の秋」に突入です。県教育委員会の指定を受け、インターネット回線で新庄南高と私たち金山校をつないだ「遠距離授業」も行われ、広瀬県教育長が視察されるなど、金山校への注目度も高まっている。



～中学生へ学校説明会～

体験授業などに続き、小グループで在校生が中学生に学校の様子を説明した。



～3年生進路激励会～

下級生からの激励メッセージの伝達と、合格ダルマへの目入れが行われた。

議会報告会	2～3P
9月定例会	4～5P
目的は達成されたか【決算特別委員会】	6～9P
一般質問	10～14P
(中村・沼澤・高橋(芳)・須藤 各議員)	
常任委員会	15P
豪雨災害現場視察・全員協議会	16P
議会研修・議会の動き	17P
町民の声・ギインコラム	18P

9月定例議会

No.115

【平成30年11月2日発行】

山形県金山町議会

検索

膝を交えて町づくりを考える

平成30年度 議会報告会

議会活性化特別委員会報告

町民のご意見を町政に反映させるため平成23年度から議会報告会を開催している。平成30年度も10月11日から24日まで7会場で開催し129名の町民の皆様から参加いただいた。

【議会報告会の内容】
平成29年度決算と平成30年度主要事業の概要に加え、昨年の報告会において意見を頂いた「議会中継構想」の検討状況、さらには、議会基本条例に基づく「議員定数と報酬」の

検討結果を報告し、今後の議会活動につなげるべき意見交換を行った。なお、「議会中継の検討状況」と「議員定数と報酬の検討結果」は以下に記載する。

- ◆報告した主要事業
1. 豪雨災害復旧支援事業
 2. 旧谷口分校再建事業（西郷地域活性化センター建設事業）
 3. 街なか公営住宅整備事業、定住促進住宅整備事業
 4. がん探知犬事業（がん特異的揮発性バイオマーカー同定研究事業）
 5. 金山版CCRC事業（現役活躍世代の回帰事業）

6. 新中央公民館建設事業
 7. 空き家対策事業
 8. ふるさと寄付（ふるさと納税）事業
- 【地域毎の参加状況】
開催日、会場ごとの参加状況は写真のとおりだよりに掲載する。



映像で30年度主要事業も報告



10月11日 飛森公民館 17名参加

【議会中継の検討状況】
より開かれた議会の実現のためにも、議会中継の必要性は理解できるものの、その導入には相当の費用を要することから、特に、アクセス数を含めた「費用対効果」の面で大きな課題があり、引き続き検討していくこととした。

【議員定数と報酬の検討結果】
地方議会では、無投票だけでなく定数割れの議会もあり、総務省の有識者懇談会は「集中専門型」や「多数参画型」の議会制度を提示するなど、議員定数や報酬にも関連する地方議会のあり方について全国的に関心が高まり、幅広く議論が交わされている。

こうした中、金山町議会としても町議会基本条例に基づき、過去3度の定数10人での選挙を受けての活動状況や県内町村議会の実態などと比較検討した結果、議員定数・報酬ともに現行の定数と報酬額で「据え置く」べきと判断した。



10月22日 下向公民館 24名参加



10月15日 山崎公民館 17名参加



10月23日 下野明公民館 20名参加



10月17日 荒屋公民館 23名参加



10月24日 旧中田小学校 19名参加



10月19日 谷口公民館 9名参加

8/5、6 豪雨 災害復旧へ7023万円専決

9月定例議会が9/5～9/13の9日間開催された。補正予算や専決処分の承認を含む9議案が審議され、全員賛成で可決した。一般会計予算は専決を含めて3億1310万円を追加し、総額45億7390万円となった。特に8/5、6豪雨での災害復旧予算や、国庫補助金、県補助金の減額等での調整となっている。また、生活支援ボランティアや担い手育成のための福祉型小さな拠点づくりや、X線撮影装置の取得なども承認された。下表の議案一覧と質疑要旨、決算特別委員会報告（p6～9）も参照していただきたい。



片貝地内の被災現場

【議案48、49号】
中村忠行議員 今回の大雨被害に際し、ハザードマップはどのように活用されたか。
武内町民税務課長 昨年の9月に全戸配布しているが、災害時の判断材料として活用され、
一部地域の方の自主避難につながったと考えている。今後も研修会、訓練等で周知を進めていきたい。
高橋浩樹議員 農用地の復旧支援は多様な提示（県も含め）があるが、民間の住宅、作業場などの復旧支援が必要ではないか。
町長 近くに河川がある住宅、作業所等への床下、床上浸水もあつたので、支援について内部で検討したい。
須藤典夫、沼澤道也、早坂憲明、矢口政一、高橋芳夫、寒河江宏一、栗田保則各議員が各視点から、40万円以下の農地災害に対する支援を町6分の1から3分の1に引き上げるよう要望をする。
町長 財政面からの検討も必要なので、少し時間を頂き前向きに検討したい。
【議案57、60号】
栗田保則議員 中央公民館建築に金山杉の活用と木質バイオマスの活用を望むが。
町長 杉材使用を基本としているが、木質バイオマス活用については、神室温泉は24時間

計とか国指定のものが中心で、今回の減は住宅土地統計の調査分である。
寒河江宏一議員 中止されたドイツ研修の財源を神室スキー場運営事業に充当するのは妥当か。
川崎総合政策課長 本予算は金山応援基金からのもので、スキー場運営費への支出も条例上特に問題はないと判断した。
早坂憲明議員 ドイツ研修中止でドイツ側や旅行業者に迷惑はかからないのか
藤山環境整備課長 現状、両件について特別

の復旧支援は多様な提示（県も含め）があるが、民間の住宅、作業場などの復旧支援が必要ではないか。
町長 近くに河川がある住宅、作業所等への床下、床上浸水もあつたので、支援について内部で検討したい。
須藤典夫、沼澤道也、早坂憲明、矢口政一、高橋芳夫、寒河江宏一、栗田保則各議員が各視点から、40万円以下の農地災害に対する支援を町6分の1から3分の1に引き上げるよう要望をする。
町長 財政面からの検討も必要なので、少し時間を頂き前向きに検討したい。

【議案61、63号】
質疑なし

の復旧支援は多様な提示（県も含め）があるが、民間の住宅、作業場などの復旧支援が必要ではないか。
町長 近くに河川がある住宅、作業所等への床下、床上浸水もあつたので、支援について内部で検討したい。
須藤典夫、沼澤道也、早坂憲明、矢口政一、高橋芳夫、寒河江宏一、栗田保則各議員が各視点から、40万円以下の農地災害に対する支援を町6分の1から3分の1に引き上げるよう要望をする。
町長 財政面からの検討も必要なので、少し時間を頂き前向きに検討したい。

請願の審査 請願3件を採択 意見書を提出

9月議会定例会まで提出された請願書と審査結果は下記のとおり。採択後、議員発議により、意見書を全員賛成で可決し、提出している。

番 号	件 名〔請 願 者〕	請 願 の 主 な 内 容	付託委員会	審査結果	賛成者
請願第3号	日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願 〔生活協同組合共立社新庄生協地域理事会議長〕	政府が実効性のある核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することが必要であり、政府・国会に意見書の提出を求めるもの	総務文教 常任委員会	採 択	全 員
請願第4号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願 〔農民運動山形県連合会会長／最北農民連会長〕	国や都道府県の役割を後退させないよう予算措置等が必要であり、政府・関係機関に意見書の提出を求めるもの	産業厚生 常任委員会	採 択	全 員
請願第5号	田茂沢地区砂防ダム建設と流路工整備について 〔田茂沢区長〕	田茂沢は傾斜がきつく、多くの被害が発生しており、ダム等の建設で安全確保等を図る必要があり、県に意見書の提出を求めるもの	産業厚生 常任委員会	採 択	全 員

議案への質疑応答要旨

【議案48、49号】
中村忠行議員 今回の大雨被害に際し、ハザードマップはどのように活用されたか。
武内町民税務課長 昨

年の9月に全戸配布しているが、災害時の判断材料として活用され、

一部地域の方の自主避難につながったと考えている。今後も研修会、訓練等で周知を進めていきたい。
高橋浩樹議員 農用地

の復旧支援は多様な提示（県も含め）があるが、民間の住宅、作業場などの復旧支援が必要ではないか。
町長 近くに河川がある住宅、作業所等への床下、床上浸水もあつたので、支援について内部で検討したい。
須藤典夫、沼澤道也、早坂憲明、矢口政一、高橋芳夫、寒河江宏一、栗田保則各議員が各視点から、40万円以下の農地災害に対する支援を町6分の1から3分の1に引き上げるよう要望をする。
町長 財政面からの検討も必要なので、少し時間を頂き前向きに検討したい。

【議案57、60号】
栗田保則議員 中央公民館建築に金山杉の活用と木質バイオマスの活用を望むが。
町長 杉材使用を基本としているが、木質バイオマス活用については、神室温泉は24時間

9月議会定例会提出議案 （各会計決算の認定除く）→ 全員賛成で可決				
1. 補正予算専決処分の承認				
議案番号	会計名	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
48号	一般会計(2号)	・8/5～6豪雨災害による法面崩落、土砂流出などの道路維持委託料、人件費など	570	42億6650
49号	一般会計(3号)	・同豪雨災害による調査設計料、清掃料、工事費、小規模農地復旧補助金など	6453	43億3103
2. 各会計補正予算				
議案番号	会計名(補正番号)	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
57号	一般会計(4号)	・前年度繰越金の確定による積立 ・財政運営基金、中央公民館等改築基金などへの積立 ・8月豪雨災害復旧関連の人件費の増額 ・地方交付税の増額、後年度負担軽減のための交付税措置のない事業債の取り下げなどにより地方債総額1億2536万円の減額 ・ドイツ研修の中止に伴う経費の減額等	2億2387	45億5490
58号	国民健康保険特別会計(2号) ～直営診療施設勘定～	X線撮影装置取得に係る請差の減額等	623	4億2202
59号	介護保険特別会計(2号)	・介護保険給付費等の実績に基づく精算返納 ・福祉型小さな拠点づくり事業費の増額等	1794	8億4304
60号	農業集落排水事業特別会計(1号)	8/5～6豪雨による施設修繕料の増額等	95	6659
63号	一般会計(5号)	8/30豪雨による施設修繕料、災害対策費	1900	45億7390
3. 人事案件、その他議案				
議案番号	案件名	議 案 の 内 容		
61号	X線撮影装置の取得	診療所のX線撮影装置を岡崎医療㈱から637万2千円で取得するもの		
62号	教育委員会委員の任命	平成30年10月1日以降も引き続き 丹 正之氏(稲沢)を任命するもの		

の復旧支援は多様な提示（県も含め）があるが、民間の住宅、作業場などの復旧支援が必要ではないか。
町長 近くに河川がある住宅、作業所等への床下、床上浸水もあつたので、支援について内部で検討したい。
須藤典夫、沼澤道也、早坂憲明、矢口政一、高橋芳夫、寒河江宏一、栗田保則各議員が各視点から、40万円以下の農地災害に対する支援を町6分の1から3分の1に引き上げるよう要望をする。
町長 財政面からの検討も必要なので、少し時間を頂き前向きに検討したい。

平成29年度

決算特別委員会

9月
7・12・13日
町民ホール

平成29年度の予算（一般会計、5特別会計、1企業会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため決算特別委員会が設置された。委員長に高橋浩樹議員、副委員長に中村忠行議員を互選し、9月7日に松坂忠良代表監査委員から各会計決算意見書の説明を受け、9月12日と13日の2日間にわたり決算状況を審議した。委員長を除く9名の委員が質疑を行った結果、全会計の決算について全員賛成で認定した。



高橋浩樹 決算特別委員長

平成29年度各会計決算提出議案 ～全員賛成で認定される～

各会計決算状況 (単位：円)			
議案番号	会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
50号	一般会計	46億5506万円	43億4482万円
51号	国民健康保険特別会計（事業：医療費）	7859万円	7586万円
	国民健康保険特別会計（直診：診療所）	3億5248万円	3億4168万円
52号	介護保険特別会計	8億3267万円	8億2294万円
53号	後期高齢者医療特別会計	6425万円	6339万円
54号	農業集落排水事業特別会計	6158万円	5995万円
55号	公共下水道事業特別会計	1億6394万円	1億5423万円
56号	水道事業（収益的収支）	1億9682万円	1億9617万円
	水道事業（資本的収支）	1250万円	9527万円
全 会 計 合 計		64億1789万円	61億5431万円

決算審査意見



松坂忠良
代表監査委員

一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調査は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、主な財政指標では、起債制限率4.0%、将来負担率51.5%、実質公債費比率8.5%などと、管内町村の中では良い水準にあり、起債残高の減少、積立金の適正な維持など財政状況は安定してきている。

一方で、税収が脆弱で地方交付税の依存度が高く、交付税の多寡によって指標が大きく左右されるため、今後、公債費や社会保障費が増加していく中、引き続き、起債の適正発行や事業の選択など、基礎的財政収支が健全な財政運営を進めていくことが重要である。

平成29年度 決算 目的は達成されたか!! 歳出総額61.5億円(前年比2.8%減)



訓練の成果 消防操法大会

消防団員の 処遇改善を

中村忠行 委員

問 8月上旬と月末の大雨の際には、町の消防団の尽力により被害が最小限になったと感じている。このような中で団員の方々は仕事を休んでまで、昼夜にわたり対策にあたってくれた。

答 災害現場への出場手当を支給できないか。

答 武内町民税務課長 報酬、手当について

町立診療所の 運営は

高橋芳夫 委員

問 新しい医師を迎える予定であるが、先生の専門分野は何か。これまでの診療所とは違った取り組みなどを考えているのか。

答 三上診療所事務長 10月から新しく来て頂く先生は石川成範先生であり、専門分野は呼吸器科となる。石川先生は現在、由利本荘市にある無床の鳥海診療所で勤務しており、医師が1名ということもあり、オールラウ



生まれ変わる医師官舎

ンド的に地域医療に根差した形で貢献している。

県立中央病院から来て頂いている先生の意見としてだが、これから医師を受け入れるにあたって、若い先生や女性の医師も増えてくるため、そのような方々の意見も参考にしながら運営していく。

その他の質問

- 谷口銀山保存会について
- 大商金山牧場について
- 福寿会のあり方について

かねやま大楽校の これからは

沼澤道也 委員

問 当初は結婚を促進するという前提でこの事業を行っていたと思う。回覧やチラシ等を見ると、結婚に至るための支援とスキルアップで可能性を高めていくという意味では大事だと思うが、果たして当初の目標通りにいくのか。

答 川崎総合政策課長 当初は結婚を目標として行っていた事業であり、現在もその目標で行っている。しかし、現実的に考えると町内で婚



かねやま大楽校の一コマ

活をして行うとなかなか参加者が少ない。最上広域において、各市町村から実行委員を選出し、新庄市内でのパーティーなどを企画するなどの事業があるため、こちらに参加しながら実際の婚活事業としての成果を上げていく事を考えている。

その他の質問

- 金山ハウスの貸付について
- 地域おこし協力隊について
- 税等の収納率について

米の娘ぶたの

利用拡大を

早坂 憲明 委員

問 大商金山牧場の肉は高く、安くならないかとの声も聞く。地元飲食店が専門に扱えるようにし、多くの町民に提供できるような対策は見いだせないか。

答 町長 「米の娘ぶた」は今も取り扱っている所があるが、町内でできるだけ食べて頂けるよう、希望があれば

ば取扱について会社に申し入れたい。

その他の質問

● 商店活性化対策利用
ニーズ調査委託料について

● 国民健康保険料等の
収納率について

町への定住者に

支援を

須藤 典夫 委員

問 金山町に定住された方が21組35名の実績となった。定住された方々も、金山に住んで



「米の娘家」の多彩な品揃え

頂いているいろろと苦労されていると思うが、定住されてから町の支援はあるのか。定住された方が帰ってしまふことがないよう機会があれば直接支援して頂くことも考えていただきたい。

答 川崎総合政策課長

体験住宅は、現段階では今後増やすことは考えていないので、現体制で今後も引き続き行っていく。

実際に定住された方々の支援については、この方々に特化した施策はないが、金山町の一町民として、高齢者対策や子育て支援対策等、町の支援を活用していただきたい。

その他の質問

● 地域おこし協力隊、
支援員について

地域おこし

協力隊の実態は

栗田 保則 委員

問 金山に住み続けたという思いで、地域の住民にも溶け込んでいただき町の消防団員にもなった菅谷隊員が、この度帰られるとのことで大変残念である。29年度を含めてこれまで具体的な成果があったのか。

答 川崎総合政策課長

平成26年4月に2名の協力隊を採用した。それぞれ教養課と産業課に所属し、3年間勤めた後、質問にあった菅谷隊員は定住して頑張っていた。平成27年4月に入られた方は、中山間地域での山林

を活用しての自伐型の林業に取り組むということだったが、思うようにいかず他に移られた。

平成28年10月に入り、現在も頑張っている産業課の柴田隊員は、昨年度、バーチャルリアリティで成果を残していた。今年度は買物弱者対策に取り組むなど、自らが町に定住できるような内容も含め模索している。本人は3年間



買い物弱者対策に取り組む

の任期が終わった後も定住したいという意気込みで頑張っている。

農業系の三善隊員は、初心者ながらも農作物の生産に頑張っている。

空豆やチンゲン菜を栽培し、自分の敷地内に小さなビニールハウスであったり、冬場は部屋に暖房設備をしたりして栽培に取り組んだが上手いかなかった。今年はその反省を踏まえて頑張っている。他に、農業系で2人いるがいろいろな要因が重なって金山での活動が上手くいかなかった。

その他の質問

● 町道の除雪について
● 新庄南金山校の修学旅行について

「やまがたの木」

の活用は

矢口 政一 委員

問 2020年に東京

オリンピック、パラリンピックが開催される。選手村ビレッジプラザに使用される杉を、町としてはいつ頃納め、どのように関わっているのか。

また、森林組合がやるということだけで町として関わりがないのか。

答 佐藤産業課長 町では60mを予定している。今後どのように納



ビレッジプラザ 木材提供に感謝状

めるかは情報が来ているので、わかり次第報告する。

町長 金山の木が選手村のビレッジプラザに行くのは事実である。提供する木の伐採時期は冬だと聞いている。その後、乾燥させて部材加工して納入するといった段取りになる。予定では2020年の第3四半期に選手村の解体が行われる。

その後、返ってくる金山杉を内装材として中央公民館建築に役立てる。オリンピックの遺産として活用されるものと思っている。

災害時放送の

改善を

寒河江 宏一 委員

その他の質問

● 災害復旧の支援について

● 診療所の運営について

問 8月の豪雨と台風

等により様々な被害があった。町として一斉メールを活用し、災害時も情報発信をしっかりとということだったが、緊急時に町の放送が聞こえないという事態が発生している。

いざという時のためにも、放送が聞こえない地域に放送設備を設置すべきと考える。

答 宮林総務課長 運

用当時にスピーカー設置場所に応じた音量を各区分同席のもと調整した。火災等については、最大の音量で放送するようにしている。屋内設置機は高額に



行政情報放送のスピーカー

域の一番奥にある小沼邸だが仕事の関係で町外に出るようになったものの、故郷として頻りに泊まりに来ていた。解体についても検討し始めた矢先、空き家の再利用の話が出てきた。

その後、有志で太陽光パネルの設置と雪室の整備を行い、NPO法人を立ち上げ、憩いの場や拠点として空き家を再利用するという計画もある。

● 採用試験のあり方について

● 土地、財産の購入について

空き家の

有効活用策は

柴田 清正 委員

問 町の状況を見通すと空き家が増えることが想定される。有屋地

答 町長 新



空き家活用が期待される

究センターがある。小沼邸が雪を見られる一つの対象になれば面白い。

空き家に関しては、まず、「売る」「貸す」「使う」が基本で、町内の不動産業者へ情報提供しながら危険空き家にならないよう留意している。

その他の質問

● 中央公民館の管理について

● 地域防災体制の整備について

町政を問う



9月定例会の初日（9/5）に次の事項について一般質問が行われました。

- ◆ 中村 忠行 議員 ① 空き家解消にむけての対応について
- ◆ 沼澤 道也 議員 ① 関係人口増への取り組みについて
② 街なか公営住宅建設の今後の取り組みについて
- ◆ 高橋 芳夫 議員 ① 中小農家に対する支援の拡大を
② 小中学校へのエアコン設置を早急に
- ◆ 須藤 典夫 議員 ① 8月の集中豪雨の被害状況とその対策について
② 「まちの駅」構想について

※質問の順序は通告順となります。

【一般質問とは】

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは、報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、60分という限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

解体経費を町で 全額負担出来ないか

回答 公平性の観点で住民の理解が難しい



中村 忠行 議員

危険空き家解消の
推進方策は

中村 忠行 議員 国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」に則り、空き家等対策計画の策定をして、法定協議会を設置し、特定空き家等に対する措置を執行するべきでは。

武内町民税務課長 「空家等対策計画」を9月半ばをめどに進めており、協議会の設置については、県内で「空家等対策計画」を策定し、協議会を設置している市町村の例を参考に、設置に向けて検討したい。

中村議員 「町修景形成助成金」を再考して、解体経費について、全

額町で負担出来ないか。町民税務課長 解体経費を町で全額負担となると、公平性という部分で住民の理解が難しい。「空家等対策特別措置法」では、「空家等の所有者等は、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう空家等の適切な管理に努めるものとする」と規定されており、所有者自らが適切に管理することが原則である。

中村議員 「金山町住宅リフォーム総合支援事業」で、新築・増改築に伴う解体経費について、町で負担することができれば、空き家問題の解消、新築・増改築の後押しになるのでは。

町民税務課長 「町住宅リフォーム総合支援事業」は「県住宅リフォーム総合支援事業」を受けて町が事業に取り組んでいるもので、補助対象となる工事等は、県と同様となっており、県の事業目的及び要件には解体工事は入っていないので、リフォーム事業に解体経費を絡めることはできないが、空き家を売買や相続・贈与で取得し、リフォームを行って居住する場合、6つの要件工事には該当すれば補助対象となる場合もある。

中村議員 「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」を活用し、空き家に関する多様な相談にワンストップで対応できる人材の育成、地方における法務、不動産、建築等の専門家等と連携した相談体制構築が町で必要では。

住・定住の促進、人口流出を抑える観点も含め、利用可能な空き家を紹介し、有効活用を促している。特に、空き家の取引で重要な観点として「売買などでの有償契約でその目的物に通常の注意では発見できない欠陥がある場合に売主が責任を負う」という、「瑕疵担保責任」があり、町では空き家に関しては、紹介にとどめ、売買契約等については、町内で資格を有し、専門的な知識を有する企業を通じて行っており、町内の企業と連携を図りながら、情報共有や対応を行っている。

中村議員 「空き家等の譲渡所得控除」などの施策を活用し、国の「空き家対策の担い手



降雪期の危険空き家

強化・連携モデル事業」を活用して、相続の際や、転居の際に、空き家の発生を抑制するためのアドバイスが出来る体制作りが必要と思うが。

中村議員 「空き家等の譲渡所得控除」などの施策を活用し、国の「空き家対策の担い手



沼澤 道也 議員

人口減少対策の一つ
に關係人口増が

沼澤道也議員 私の今年の一般質問のテーマは人口減少対応にしている。今回は「学校問題」で、今回は「関係人口問題」とした。以前からするとイベントの数が少なくなってきたり、質が変化しているようだが、関係人口（交流人口）を増やす取り組みは、現状どのように考えているのか。

川崎総合政策課長 関係人口とは「移住した定住人口でもなく、観

相互交流の可能性も関係人口増へつながるものと模索している。

女子会」主催での「林業女子サミット」は、9/15、16に実施予定で、町では関係団体を含む実行委員会を結成して支援体制をとっている。

「街なか公営住宅整備事業」の中間検討の必要性は

沼澤議員 街なか公営住宅の利用状況と今後の進め方をどう考えて

関係人口増への取り組みは

回答 金山版CCRC事業等での拡大を



林業女子が金山でサミット開催（旧中田小）

町長 今後定住促進住宅や中央公民館建設を控えているが、東京五輪での資材や労働単価の高騰等もあり、そうした事業に支障にならないよう若干見直すこともあり得ると捉えている。

中小農家に対する支援の拡大を

回答 「現状維持」の補助はなく、検討する



高橋 芳夫 議員

農家は大農家だけでなく

高橋芳夫議員 町の大きな産業である米農家は、少しずつ大規模化が進んでいるものの、頭打ちと言える。金山の米農家を支えているのは大規模農家だけではなく、中小の米農家でもある。

中小農家が補助金の相談をする、土地を購入したり借りたり、パイプハウスや畑作事業の取り組みなど経営内容の拡大を求められ、中小農家からしてみると足かせになっている。中小農家を守るため、



期待される「金山米」ブランド

佐藤教学課長 昨年度から各学校へのエアコン設置を検討してきた。概算費用も積算したが、巨額となることから年次計画として3分の1が補助される国の交付金事業として、金山中学校分を平成31年度に設置する計画を国に提

町長 補正予算が確保できても年度内に全て完了させるのは難しいので、繰越も考えられる。9月10日に、町と議会の名前で文科省に予算確保の要望書を提出したい。一斉に整備するのが望ましいが、財源確保が課題となる子どもたちには同じ環境で学ばせたいので、精一杯努力していく。

実行する計画策定は必須となる。

現在、「現状維持」のための補助事業はなく、農業部会等を含めて検討したい。

高橋議員 町として、今の稲作農家、中小の農家がこのままで良いとの考えか。それとも何か手立てをしなければならぬと考えているのか。

町長 担当課も要件が揃っていないことで各農家が苦労されているという事を認識している。ブランド力なども含めて農家への支援を考え

学校にエアコン設置を

高橋議員 今年の夏は大変暑かった。熱中症対策にはどうしてもエアコンが必要と考える。厳しい財政事情は理解するが、子どもたちの健康と命を守るため、早期に設置すべきではないか。

佐藤教学課長 昨年度から各学校へのエアコン設置を検討してきた。概算費用も積算したが、巨額となることから年次計画として3分の1が補助される国の交付金事業として、金山中学校分を平成31年度に設置する計画を国に提

出した。

そうした矢先、国がエアコン設置の補正予算を確保するとの報道があることから、先に提出した中学校分に全小学校分も追加して取り組んでいくことも検討したい。

高橋議員 補正予算が確保できた場合、事業はいつできるのか。

佐藤教学課長 30年度事業となるが、スケジュール案が示されていない。

町長 補正予算が確保できても年度内に全て完了させるのは難しいので、繰越も考えられる。9月10日に、町と議会の名前で文科省に予算確保の要望書を提出したい。一斉に整備するのが望ましいが、財源確保が課題となる子どもたちには同じ環境で学ばせたいので、精一杯努力していく。



須藤 典夫 議員

災害復旧に全力を尽くせ

回答 県と協力して対応

頼れるのは町、補助率の上乗せを

須藤典夫議員 8月の記録的な豪雨による災害状況はどうなっているか。

須藤議員 今後への教訓は。

や消防団員の個別の避難誘導等、早急な対応によるものと思ってい

設置のまま対応した。ただ、振り返って見ると、対策本部を設置できる規定であっても職員で対応するにしても限度があるので、夜間、休日の場合の対策

にあたる体制をさらに職員が意識を高めて、今度こういう事が起きた場合どうすればいいのかと、そういうことを想定しておく必要があると感じた。

須藤議員 小規模農地災害復旧支援事業において町補助金の上乗せはできないか。

佐藤産業課長 町の補助額は、県の制度に併せて6分の1という事で算定している。

「まちの駅」建設構想の結論は

須藤議員 町民や来訪者に町の情報や産物を紹介する公設の「まちの駅」は建設出来るのか。

町長 まちの駅、あるいは、道の駅にしても

国土交通省からの補助を頂くようにになれば、24時間使えるトイレの設置、あるいは、冬場でもトラック等の車両を止められるスペースの確保、そういうふうな事が課題として出てくるので、公民館を改築して、あの公民館が出来た約50年前の車社会と、今の車社会は全く違うので、その辺を考え合わせれば、まちの駅も道の駅も設置するにはかなり窮屈な場所になる。現実的には道の駅、まちの駅の建設というのは、非常にお金が掛かる反面、年間を通しての経営がなかなか成り立たないという事も想定されるので、現段階では物理的な広さの面と、将来の経営面両方を考えると、かなり実現性は難しいと考えている。



100万人を突破した道の駅「米沢」



被災した農地を調査

常任委員会の活動報告

8月集中豪雨による被害への復旧支援を

総務文教常任委員会

問 8月5日から6日、30日から31日の集中豪雨により被害がでている。農地被害の対象にならない農家にも支援を。

答 当初、中山間地域直接支払地への支援はなかったが、県が3分の1支援をすることになり、県とのやり取りを経て、町の6分の1支援が実現した。

問 修景形成助成金は、町内に住めば出ない、町外に住めば出る。また、危険な空き家にならないと、該当しないという対応では、解体に踏み切れない方もいる。対応の見直しを望むが。

答 審査会で、助成対象を判定している。交付要綱では、老人ホームなどの施設に入居した場合は対象となるが、今後、さまざまなケースが出てくると思



被災した農地を調査

問 中央公民館の設計は、どんな形で、誰に決定するのか。

答 町のシンボルであり、町の景観審議会に相談して、長く携わってきた先生の中から、随意契約で設計者を選定したい。

問 災害復旧資材で、地区支給が50万円、消耗品が8万円とあるが内容は。

答 土嚢袋や土留め板、木杭等の応急資材を想定している。

問 町内での「集落営農」組織の実態はどうなっているか。

答 今年、荒屋地区5戸の農家で「荒屋集落営農」が立ち上がり、将来は全戸加入の法人化を目指している。ただ、上台地区と漆野地区の組織は解散している。40万円以下の小規模災害復旧対策事業は県が3分の1、町6分の1、個人2分の1の負担とあるが、町の配分を変えることはできるのか。

答 これは案であり、どこまで変えられるかはこれ

問 街なか公営住宅は今後も2棟ずつ建設していくのか。

答 2次計画に入り、4年で8棟を計画しているが、必ず建てるものではなく、社会情勢も勘案して進めたい。

問 10月から医師1名が増えるが、夕診を増やせないのか。

答 先生方は対応できるが、看護師が定員6名に対し3名不足しており、対応できない状況にある。



田茂沢の請願箇所

議会の主な動き（7月～9月まで）

7月 2日(月) 最上広域事務組合議会7月臨時会 新庄市
6日(金) 議会全員協議会、認定農業者会と語る会 役場
7日(土) 金山農協年金友の会第39回通常総会 改善センター
8日(日) 金山健康ふれあいスポーツ大会 金中体育館ほか
10日(火) 町高齢者総合支援推進委員会 改善センター
11日(水)～12日(木)
全国町村議会広報研修、広報常任委員会中央研修 東京都
13日(金) 宮城県亘理町議会総務常任委員会視察研修対応 役場
総務文教常任委員会現地調査 町内
15日(日) 新庄古口道路（津谷～古口）開通式 戸沢村
18日(水) 議会広報常任委員会 役場
23日(月) 議会広報常任委員会 役場
25日(水) 新庄湯沢道路建設促進ビジョンフォーラム 湯沢市
31日(火) 町青少年育成町民大会 改善センター

8月 3日(金) 町産業まつり実行委員会 役場
7日(火) 議会全員協議会、議会活性化特別委員会 役場
8日(水) 8月5日～6日豪雨災害現地調査 町内
湯沢河川国道事務所への道路要望 湯沢市
9日(木)～10日(金)
新庄湯沢道路他合同要望会 山形・仙台・東京
14日(火) 町成人式 改善センター
15日(水) 金山まつり出発式・先導、山車審査会、同表彰式 町内
16日(木) 町育英会運営委員会、奨学生懇談会 役場
17日(金) 町立金山診療所経営委員会 診療所
20日(月) 奥羽・羽越新幹線整備実現同盟促進大会 山形市
28日(火) 議会運営委員会 役場
30日(木)～31日(金)
3県合同議長中央研修、県選出国会議員との懇談会 東京都

9月 3日(月) 地区市町村議会議長会定例会、地区町村議長会 開発センター
4日(火) グリーンバレー神室運営委員会 管理センター
5日(水) 9月定例会本会議 役場
6日(木) 議会活性化特別委員会、議会広報常任委員会 役場
7日(金) 決算特別委員会、総務文教・産業厚生各常任委員会 役場
9日(日) 町総合防災訓練 明安小学校
12日(水) 決算特別委員会 役場
13日(木) 決算特別委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会 役場
16日(日) 町福寿会 新南高金山校
17日(月) 東日本チェーンソーアート大会 遊学の森
18日(火) 町表彰受賞者会との意見交換会 町内
23日(日) とこみどりマラソン大会 金山小グラウンド
25日(火)～26日(水)
荘内・最上両地方町村議会議長会 遊佐町
29日(土) めごたまた運動会 町民グラウンド

課題を的確に捉える

舟形町中央公民館での研修会では、地元に通じた2人の講師に学んだ。最上総合支庁総務企画部長の高橋浩也氏からは「少子・高齢化の観点から考える最上地域の今後20年の課題と展望」と題し、厳しい現状と課題について理解を深め、同部総合政策課連携支援室長の浅沼道生氏からは「奥羽新幹線の整備促進に向けて」と題し、奥羽新幹線への展望などについて理解を深めた。



高橋総務企画部長が講演

山形国際交流プラザで開催され、中央の権威ある講師陣による貴重な講演を聴講できた。首都大学東京准教授の山下祐介氏は「限界集落の真実く人口減少時代における地域再生」と題し、地域の持つ本当の可能性について、フジテレビ報道局上席解説委員の平井文夫氏は「どうなる？政治・経済の展望」と題し、政権の行方や外交などと絡めた政治など、現状と課題について学んだ。



フジテレビ報道部 平井氏が講演

地区市町村議会研修（10/12 舟形町）

県町村議会研修（10/16 山形市）

豪雨災害の現場を視察（8月8日）

8月5から6日にかけての集中豪雨は、24時間最大降水量：312.5mm、1時間最大降水量：59.0mm、わが町観測史上、最大の大雨となる。



松の木橋上流の道路浸食



谷口地区の大規模法面崩落

町議会議員による災害現地視察を、8月8日におこなった。下野明地区、金堀沢の法面崩落。松の木橋の上流、河川洗掘による道路浸食。町道柝沢ダム路線、林業センター付近の巨大な岩石の落石。田茂沢地区、法面崩落。入田茂沢、作業小屋浸水。宝円寺付近、法面崩落と河川増

水。谷口地区、山崩落と法面崩落。上台川の帯工前の河川洗掘などを視察した。緊急に、現場復旧工事に取っかかっていた災害地もあった。災害の大きい農地は、災害申請をしてからの補助金待ちとなり、不安を抱える農家もいた。農地災害の多くは、国の補助金対象から外

れてしまう40万円以下の法面崩落等が多く見られた。そのために、視察直後の総括の中で、国の補助金対象外の農地・農業施設災害復旧に、金山町独自で補助の対応ができないか、行政側の考えを聞いた。その後、議会側からは、40万円以下の農地災害への復旧支援を求めた。

【議会全員協議会】10月2日

●災害復旧40万以下に町の支援決定

国の補助金対象外の農地・農業施設災害復旧に、県・町あわせて3分の2の支援となり、個人の負担分は3分の1となる。申請は、産業課まで。

●診療所へ医師の応援

11月から週1回・木曜日に、山形中央病院を退職し現在も嘱託で勤務している、金山町出身の藤山純一先生（小児科）が応援診療する。

●行政情報放送 大雨で聞こえず

音量を最大限に設定している地区が3地区あるが、7地区ほど低く設定している地区もある。区長と相談して設定したい。

X線撮影装置取得の議決事項を変更

9月定例会で議決していたX線撮影装置取得の議決事項の変更について、全員賛成で可決した。

議案番号	案 件 名	議 案 の 内 容
64号	X線撮影装置取得の議決事項の変更	山形市の岡崎医療㈱と6,372,000円で取得することとしていたX線撮影装置は、契約前に機種の一部仕様が条件を満たしていないことが判明したため、次点の入札をしていた同市の東北医療機器㈱と6,402,240円で取得することに変更するもの。

【10月議会臨時会】10月2日



町民の声

「私達の上台峠」

上台地区区長

天口 滋雄 さん
(69歳)

バード来町から140年

イギリスの女性旅行家、イザベラ・バードが金山を訪れてから140年になります。明治11年に、険しい山道を越え上台峠から金山町を眺め、ピラミッド形の山を見て「ロマンティックな雰囲気」な場所であると書いています。

上台バイパス道路が出来てからは、ひっそりとした木々の繁森の中の道として、古い歴史を感じさせる旧道になっています。

最近、この場所を求めてリュックサックを背負い、山道を下ってくる人が多くなりました。

旧道を手入れして約50年

そんな人々を見ると、一層、管理や手入れが大事だと思います。上台地区では恒例行事として、旧道の草刈りや排水路の掃除を約50年近くやっ

ています。

また、道路沿いに桜を植えたりして守ってきました。地区の皆さんは近道と言っていますが、熊野神社わきにある山道です。

上台峠をぜひ訪れて

バイパス道路が出来る前は多くの人々が行ったり来たりしていましたが、利用がなくなってからは、草や木が生い茂り、荒れていました。それを地区の有志が集まり整備し、昔の道として歩けるようになりました。旧道ともつながり一周する事が出来ます。歩いて20分くらいで回れます。

昔から新庄金山間を結んできた上台峠を、ぜひ訪れてみて下さい。また、今回の大雨により道路の傷みが激しいので、早い町の対応を願っています。



地区総出で汗を流す

議会豆知識 No.14

●「議員定数」

以前は「法定定数制度」で、人口規模に応じて法律で定数の上限が定められていた。金山町は18人とされたが、平成11年4月の選挙は減少条例を定め2名減の16人とした。その後、地方自治法の一部改正により「条例定数制度」となり、平成12年の条例制定では16人と定め、平成15年4月の選挙を迎えた。

その後、平成17年9月議会では6人減という大改革を行い、平成19年4月の選挙から現行の10名となり現在に至る。町議会基本条例に基づく検討を経て、来年4月には町議会議員選挙が行われる。

総務省の有識者懇談会が報告書に盛り込んだ、小規模な市町村の場合、現行制度に加えて、議員数を減らし専門で生活できる報酬を支給する「集中専門型」と、報酬を抑制して議員数を増やす「多数参画型」という新たな地方議会の制度案が示されているが、地域の声や実情に配慮されていないとの地方議会の声が大きく、今後の議論に注目が集まる。

12月議会定例会は12月5日(水)～7日(金)の予定です
町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギンギム

No.8

来年4月、統一地方選挙が予定されている。全国的には議員のなり手不足が懸念され、問題点が二つ上げられていた。

「議員報酬」と「議員の働き方」だ。総務省の研究会は報告書をまとめ、小規模市町村を対象に、新たな議会のあり方を提案した。『集中専門型』と『多数参画型』の2つのパターンだ。個人的には『多数参画型』が良いと思う。

その前に、本当に議員になれる人が不足しているのかということ自体に疑問を持つ。人口が少ないほど、議員のなり手確保が難しいと言われる中、現在、金山町には女性議員はいない。人口減少の時代に、半数を占める女性の参加が少ないとなれば、なり手の確保が厳しくなるのではないだろうか。

(文責 高橋 浩樹)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 中村 忠行
■ 委員 高橋 芳夫
■ 委員 高橋 浩樹
■ 委員 早坂 憲明

* * * * *